

2010年5月12日

福井県知事 西川一成様
敦賀市長 河瀬一治様

放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜

高速増殖原型炉「もんじゅ」運転停止の緊急申し入れ

2010年5月10日20時50頃、制御棒（微調整）挿入を中止しました。5月10日に日本原子力研究開発機構（以下、「原子力機構」）は原因を運転員のミスと発表しました。

しかし、単なる運転員のミスではなく

- ・ 運転訓練欠如の実態
- ・ マニュアルに重要な記載欠落の実態

という「もんじゅ」を動かす資格に欠ける組織・原子力機構の姿が明らかになりました。

「もんじゅ」はナトリウム漏えい火災以降14年半間、運転再開のために約2,300億円もの国家予算で日常的な訓練と改造工事を行ってきたはず、いまさら訓練してなかったとの言い訳は許されません。

5月11日の記者会見でもんじゅの所長は「シミュレーターですべての運転操作を経験できるわけではない」（読売新聞 福井県内版 2010年5月12日）と強弁しています。ならばそれを乗り越えるための対策が当然施される必要があります。ところが現実は何の対応もなかったのです。このような組織が「もんじゅ」を運転しています。このような組織にプルトニウムとナトリウムを操る「もんじゅ」を扱う資格はありません。「もんじゅ」は即時停止してください。

5月10日に1日中警報器が鳴り響いていました。また、制御棒という安全の要である重要機器の扱いすら訓練されていない実態が明らかになりました。

国は「もんじゅ」の運転再開を認めましたがその根拠が根本から揺らいでいます。国民の安全・とりわけ1年の大半が「もんじゅ」の風下地域である岐阜県民の安全が脅かされようとしています。

川端文部大臣は検証を指示していますが、運転を停止させた上で検証するよう、西川知事、敦賀市長から大臣に求めてください。

以上

放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜 代表 兼松秀代